

思港

第11号

立校報日行
 川港会
 神奈川高等学
 港北会
 思港会
 平成29年3月1日
 発



新築の視聴覚室棟(本校5期生の渡辺組が請負)



同窓生の在校生支援募金により整備されたレンガ積み花壇

母校では平成24年から行われていた校舎の一部建て替え、ならびに耐震補強工事が昨年完了しました。一見すると元とあまり変わらないようにも見えますが、視聴覚室棟は一旦更地にしてからの完全な新築となっております。

さて、同窓会ではこの1年も総会の開催、校内緑化活動の推進、思港祭への参加、生徒活動支援としての横断幕の寄贈、そして会報発行、公式サイト運営など、さまざまな活動を行って参りました。

平成29年は隔年で開催しております新横浜プリンスホテルでの懇親会

開催年となり、母校への支援活動もさることながら、卒業生同士の交流の礎となることこそが、当会の大きな務めと心得ております。是非ひとりでも多くの同窓生に足をお運び頂き、旧交を温めまた新たな出会いを見つけて頂ければと存じます。

同窓会の活動情報は公式サイトで随時ご確認頂けます。各期、各クラス、各部の同期会、クラス会、OB会情報などお寄せ頂けましたら掲載させて頂きますのでお気軽にご利用下さい。

当ページ左下の総会案内にURLとQRコードを記載しておりますので一層のご活用とご周知のほど、よろしくお願致します。

(思港会 事務局長 伊藤隆治)

昨春着任された布川校長先生から「寄稿頂きました。」

「港北の言葉」に支えられて
 校長 布川勝也(ふかわかつや)

平成28年、第17代校長として着任しました。どうぞよろしくお願いたします。

4月2日(土)、出勤してみると、同窓会(思港会)の皆さんがいらつしやり、早速、ご挨拶をする機会に恵まれました。緑化・環境整備活動に励む皆様の姿に感激いたしました。

生徒活動の顕著な実績に対する横断幕、思港祭への参加、太尾小ふるさと祭への参加と日ごろのご支援に深く感謝申し上げます。

校長室便り「シンフォニー」を発行し、始・終業式のたびに発行しています。7月25日の第1号では、「港北の言葉」について書きました。学校公式HPに掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。3号・4号では「GRIT(やり抜く力)」について書きましたが、これは、正に、港北スピリット。「何事にも明るく素直で前向きに。自分で考え最後までやり遂げる」力です。港北スピリットを支えている幸運を大切に参ります。



布川校長
 「本校が育む『生きる力』を象徴する言葉『自学力』と授業力向上の柱である

「アクティブ・ラーニング」、両者の関係をより明確にすべく、このたび、自学力の定義を見直し、「課題を発見し解決するために必要な『自ら主体的に学び続ける力』」と新たに定義しました。

6月体育祭、9月思港祭は、創立48年目を迎えた本校の歴史の重みを感じさせる立派な内容で、生徒の「自学力」が見事に発揮された内容でした。皆様方の母校港北は創立50周年に向かつて不確かな時代を生き抜く「確かな力」を育み続けます。引き続きのご支援をお願いするとともに、思港会の益々のご発展を祈念しております。

【思港会 総会および懇親会のお知らせ】

- 日時：平成29年 6月10日(土曜日)
 午後3時～3時30分 総会
 午後3時30分～4時 吹奏楽部演奏(予定)
 午後4時～6時 懇親会

・場所：新横浜プリンスホテル5階 シンフォニア

・懇親会費：7,000円(着席ピュッフェ形式)
 卒業期ごとにテーブルを割り振ります

<出席のお申込み>
 思港会ホームページよりお申し込みください。 QRコード
<http://kohokuob.com>



<お問い合わせ>
 思港会事務局 FAX&TEL 042-860-7858
 思港会メールアドレス info@kohokuob.com

同窓会活動報告 ①

同窓会では在校生への活動支援の一環として横断幕を寄贈しています。高いレベルで活躍される現役生からメッセージを頂きましたので、紹介いたします。

水泳部 3年7組 檜山悠理

横断幕を掲示していただき、ありがとうございます。私の水泳人生15年の中で、港北高校の生徒として泳いだのはたった3年間でしたが、一番大切な時間を港北の同窓会の方に支えていただいた事を本当に嬉しく思い感謝の気持ちでいっぱいです。

関東大会に3年連続で出場できたことは私の人生の誇りです。しかし、まだまだ成長できる点が山ほど残っていると思います。これからはスポーツの舞台ではありませんが自分自身をしっかり成長させ夢に向かって励みたいと思います。本当に3年間お世話になりました。ありがとうございます。

放送部 1年6組 金吉航毅

横断幕を作っていたいただき、ありがとうございます。今回の高等学校総合文化祭放送部門の朗読部門でのまさかの優勝は、私にとって驚きでした。滑舌に難があり、大ミスありと決して納得できる読みではありませんでした。この結果は、次の大会の大きなプレッシャーとなるでしょう。しかし、朝夕

横断幕を見て、次回の大会では、胸を張って上位となるように練習に励んでいます。最後になりますが、私のような1年生が優勝できたのは、顧問の先生や多くの仲間がいたからだと思います。改めて感謝申し上げます。



正門左手に掲示された応援の横断幕

いきたいと思います。

囲碁将棋部 2年6組 栗田佳樹

横断幕を作って頂き、ありがとうございます。

私は、昨年度までプロの囲碁棋士を目指して、日本棋院の院生をしていたため、規定により今年度は高校生の大会に出ることができず、一般のアマチュアの試合に参加してきました。

5月に行われた第11回朝日アマチュア囲碁名人戦神奈川県大会で優勝し、7月の全国大会に出場しました。大会1日目を勝ち抜き、優勝を目指しましたが、2日目の準決勝で敗れてしまいました。3位決定戦の相手は、お世話になっている道場の先輩でしたが、何とか勝つことができました。

大会が終わった直後は、優勝できなかった悔しさでいっぱいでしたが、部活やクラスの仲間、先生方にも祝福して頂き、とてもうれしくありがたかったです。

囲碁の一番面白いと思うところは、先の展開を読むところです。また、年齢、性別、国境を超え、いろいろな人と交流できることも大きな魅力です。この4月から受験生となりますが、できれば次回の朝日アマや、高校囲碁選手権でも活躍できるように、囲碁も頑張っていきたいと思っています。

全国大会に出場することで、たくさんのお話を学び成長することができました。大変貴重な体験になりました。これからの人生にこの経験を活かして

幅広い分野で在校生が活躍してくれているのは本当に嬉しいものです。皆さんのこれからの益々のご活躍をお祈りいたします。

【卒業生の皆様に寄付のお願い】

同窓会では会則に基づき関東大会以上に出場される生徒さんに横断幕を寄贈しています。

今年度は皆様からの寄付を横断幕の購入、花壇のレンガ整備に充てさせていただきました。ありがとうございました。

- ・振り込みによる募金は下記の口座までお願い致します。
銀行名：横浜銀行 支店名：伊勢佐木町支店
口座：普通 6002593
名義：神奈川県立港北高等学校同窓会

- ・同窓会総会・懇親会の会場でも寄付の受付を行います。

温かいご支援のほど、引き続きよろしくお祈りいたします。

応援募金 賛同者

(敬称略)

期	賛同者名(旧姓)	期	賛同者名(旧姓)
1	米山(高松)麻子	4	若林庸夫
2	真田正博	4	嶋村公
2	渡辺秀敏	6	沢泉一
2	当山明彦	6	成田(西沢)玲子
2	若木(村松)貞子	7	高野正洋
2	野村(瀬川)昌子	7	小畠(木村)千里
2	田村(石川)千恵子	8	立花恵里子
3	3期還暦同期会	9	関口(山田)恭子
		14	滑川雅臣

港北生のいま

母校では生徒会の活動が大変盛んで他校との生徒会同士の交流、情報交換が自発的に行なわれているとのこと。毎年生徒会役員の希望者が多数いるそうです。今号には会長、副会長より、活動の内容や思いを寄せて頂きました。

「生徒会長として」

生徒会長 2年4組 森山 真澄

生徒会長に立候補しようと思っ
たきっかけは、体育祭を通して出
会った先輩方でした。応援団で仲
良くなった3年生の背中がとても
大きく見えて、こんな3年生にな
りたいと強く思いました。そんな
先輩方が作った港北高校の雰囲気
がとても好きで、良き伝統を繋い
でいく存在でありたいと思い、立
候補しました。

「生徒会の活動について」

副会長 2年6組 石本 美羽

生徒会本部は、2年生11人、
1年生7人の合計18人で構成さ
れており、主として予算案の作成
や3送会・新入生歓迎会の運営な
どの活動を行っています。また、
全公立展や太尾小学校との合同
「あいさつ運動」、震災等の募金
活動などにも積極的に取り組んで
います。

また、毎週木曜日の昼休みに行
われるランチミーティングはアッ

トホームな雰囲気の中で話し合い
が行われています。

「他校との交流について」

副会長 2年7組 伊藤 瑚雪

お互いの活動の中に新しいこと
を取り入れる、または反映させる
ことを目指して、岸根、城郷、
市ヶ尾、港北の4校で定期的に交
流会を行っています。(市ヶ尾は
今年度から参加)

各校が活動報告し、課題を挙げる
など活発に意見交換が行われてい



生徒会本部役員のみなさん

ます。これは、今後の活動に活か
せることを学ぶ良い機会となつて
います。次回開催に向けて準備中
ですが、何か新しい報告ができる
ように頑張っていきたいと思いま
す。

生徒会活動も変わってきている
ようです。頼もしい後輩たちに
エールを送りたいと思います。

同窓生だより

株式会社 渡辺組 代表取締役

渡邊 一郎(5期生)

卒業より40年、高校時代の思
い出が走馬灯のようによみがえり
ます。今は廃部になった様ですが
柔道部に所属し練習に明け暮れた
日々。肝心の勉強は全くダメ、特
に理数系は苦手、成績も下から数
えた方が早い状況。

家業が建築なので「大学行くな
ら建築学科」と親からの厳命があ
り、高3になって少しずつ受験勉
強を始めましたが一番苦労したの
が理科でした。当時は物理、化
学、生物の3科目から1科目選択
し受験するのですが、暗記勝負の
生物で建築学科を受験し、なんと
か合格した怠け者です。

そして大学卒業後、祖父の代よ
り続く家業を手伝い、15年前に
父より社長を引き継ぎました。
2011年3月11日の大震災

sanwa
スーパー三和 ラゾーナ川崎店
店長 波多野 弘司(4期生)

RAUMEN+AMUSEMENT+MUSEUM
ラミュズメント・ミュージアム
新横浜ラーメン博物館
代表取締役 岩岡洋志(七期生)

12期生の清水 透です。現在、不動産業を営んでおります。
西寺尾の本店の他、鶴見・妙蓮寺・大口に店舗を構え、
賃貸・管理・売買など不動産全般のことはお任せ下さい。
清水商事株式会社
本店 神奈川区西寺尾1-20-12 tel 045-431-6636
鶴見店 鶴見区馬場5-13-38 tel 045-582-6900
妙蓮寺店 港北区菊名1-9-28 tel 045-435-0123
大口店 神奈川区大口通5-13-38 tel 045-439-3020

230ヤード・105打席の大型練習場が
あなたをお待ちしています!!
YOKOHAMA
TOPIC Golf Club
横浜市神奈川区三枚町777 支配人
TEL 045-383-1517 鈴木 恵(4期生)

平成27(2015)年度 思港会会計報告

(収入の部) (単位:円)

科目	予算額	決算額	予算比	摘要
繰越金	525,474	525,474	0	前年度より繰越
会費	675,000	675,000	0	44期生(225名)
雑収入	40,000	40,215	215	会報広告料・利子
合計	1,240,474	1,240,689	215	

(支出の部) (単位:円)

科目	予算額	決算額	予算比	摘要
積立金	500,000	500,000	0	周年事業寄付積立
横断幕	90,000	30,516	59.484	1枚作成(書道部) 他4枚は生徒活動支援 募金より支出
校内緑化	80,000	68,551	11.449	花苗・資材代他
思港祭	10,000	0	10,000	
太尾小 ふるさと祭	10,000	0	10,000	
HP運営費	74,000	73,500	500	メンテナンス費・運営費
会報印刷	20,000	10,768	9.232	会報印刷 1,500部
総会費用	200,000	198,891	1,109	総会案内発送費他
消耗品費	10,000	168	9.832	A4用紙他
通信費	10,000	10,772	+772	事務局電話FAX他
予備費	236,474	80,924	155.550	生徒へ贈呈クリアファイル代他
合計	1,240,474	974,090	266.384	

平成28(2016)年度 思港会予算計画

(収入の部) (単位:円)

科目	前年決算	本年予算	増減	摘要
繰越金	525,474	266,599	258,875	前年度より
会費	675,000	807,000	+132,000	45期生 (269名×3,000円)
雑収入	40,215	40,401	+186	会報広告料・利子
合計	1,240,689	1,114,000	126,689	

(支出の部) (単位:円)

科目	前年決算	本年予算	増減	摘要
積立金	500,000	500,000	0	周年事業寄付積立
生徒活動支援	30,516	250,000	+219,484	現役生徒支援・横断幕・花壇整備等
校内緑化	68,551	140,000	+71,449	花苗・資材代
思港祭	0	10,000	+10,000	
太尾小 ふるさと祭り	0	10,000	+10,000	
HP運営費	73,500	74,000	+500	HP維持管理費
会報印刷	10,768	20,000	+9,232	
総会費用	198,891	70,000	128,891	
消耗品費	168	10,000	+9,832	事務用品他
通信費	10,772	20,000	+9,228	事務局電話FAX他
予備費	80,924	10,000	70,924	現役生徒支援・表彰等
合計	974,090	1,114,000	+139,910	



5期生の渡邊 一郎さん

建設資機材搬入は正門からグラウンドの隅に鉄板400枚以上敷き並べた仮設搬入路を造りました。近接の小学校、我が校の生徒の登校時に搬入時間が同時になることも少なくなく誘導員を通常の場合より多

で使用停止中の学び舎の建て替え工事を縁あって請け負うことになりました。自分の卒業した校舎の建て替え工事に巡り合える建築マンは希少です。会社においても、多くの他の工事現場より気になり、現場に行く回数が多くなりました。学校の事は現場の担当者より詳しく作業上のさまざまな事に口を出し煙たがられました。

最近の若い人の建設業離れが激しく、各社はその対策に頭を痛めております。「キツイ、給料が安い、休日がない」と新3K業種と言われてますが決してそんなことはありません。建築は何もない無の状態から人の手、人の知恵、人が扱う機械力で大きなものを作り上げる夢と魅力ある仕事です。出来るだけ多くの在校生が大学等の建築科に進む事を期待しています。弊社は普通高校から採用し建築技術者として育成する職場教育を実施しています。多くの在校生が建築工事、土木工事等の建設の仕事に携わることを願っております。

同窓会活動報告②

埴輪モニユメント撤去工事

老朽化して瓦礫となったり、スズメバチが巨大な巣を作った生徒たちに不安を与えていた埴輪を撤去しました。プール脇にあった埴輪は7期生が授業で制作したもので、撤去の許可を得るべく当時の担当者・責任者を探してお話しを伺いましたがいずれも責任の所在がはつきりせず、同窓会の責任において撤去を学校に提案し了承を得て撤去しました。



長年にわたり港北高校の生徒を見守ってくれた埴輪像